

文化祭

館長 橋本昭三

文化とは文明開化だ位は識っているつもりでしたが、

「人間が一定の目的に従って自然に働きかけ生活を充

その過程で作らぬ工化たもの

ことに学問、芸術、道徳、宗教など精神的なものを含む場合が多い」とありました。

過日、明円寺御住職より文化の起源は農耕からだとお伺いしました。此れを裏付けしていると感じました。

大正、狩猟を生きこいた先祖が、荒地を開き、種苗を育て、又それに必要な農具を作り、家畜を飼うなど

農業その他の学問も起り、諸々の生活の手帳が考えられ

た。此れが文化だと思ひます。私達の先祖が残して呉れた生活の跡をたどり、又、日進月歩、止むことない文明を追求して行くことに文化祭の意義があると思ひます。

早い今年には町民有志の御寄附が御参りになり、文化祭をより盛んにする協議が熱心に之れをおり、非常

に心強く感じ居ります。全町の皆様よろしく御交

接と御協力を御願ひ致します。

◆国民体育大会 開会式の スケッチに立つ

柳田 藤井房子



うそのように青空が広がった松江市陸上競技場。

一分五秒の式、次第に不安と祈りの気持ち、二時四十分、一分の遅れもなく終了、開会宣言と共に、ブライ

ド看板が、さつと変わる。新鋭機を駆使しての大会との

重伝どおりだった。ポニーシックスとスタン

ドとが一体となり、この歌声、数々の心うづ集演技等を

スチンドにのこまかつた。としみみ感じた。

ハナ才具民総力をや、た、八才具民総力をや、た、

◆町民体育大会を 終え

ハ友田 高村貢

去る十月十日、体協一番の大行身、体育大会を無事終

ることに出来、これも町民の皆さん、自治会、婦人会

青年団の皆さんの積極的な協力のたすものとの心から感謝致します。

体育大会には皆さんを始め、農協、郵便局、残利、信用金庫の方々からも暖かい御協力を頂き、本当に有難う御座いました。

◆入選標語

大代少年健全育成委員会

少年健全育成月間指標入選発表会にてひろば大代に

入選作品は次のとおりです。

11月 人も物も大切にすま

子に育つよふ橋本昭三

11月 明るい家庭に

よい子は育つ立野保雄

以下次号に続く

◆秋の交通安全

週間を終つて
町交通対策協議会
期間中も地区内では可
成りの事故が発生していた
模様です。
何時の場合でも大切なのは
とほルールを守ること。と
りわけ安全なスピードで運
転すること。此の一語に尽
きる様です。

道路は皆が利用してゐる。
夫々の規則を守つて行かな
い限り事故は絶えない苦です。
週間も終つたから10月26
日(大曜日)通行する車輛
を調べて見ました。

乗用車	トラック	自動車	バイク
15	19	40	12
6	9	15	5
40	50	37	40
		50%	70%

カーブ(鏡あり)前川町88号近前

二輪車	9	4	45%
自転車	9		
歩行者	10	40	40%
計			

※数字上げ(通行車輛)
下段(数値規則を
怠つた車)
平均40%余りルールを守
れなかつた様です。
皆エントの交通安全に努力
しましょう。

郷土の伝説

新屋さん
始めに当つて

小学校長 山本清助
これから紹介する伝説は
昔この地方を開発したと言
われる尾張藩の中の新屋集
団の一部分のお話です。
新しいに飯谷の武田工んのお
家に昔からの言い伝えがあ
りました。この言い伝えは
大代町誌(大代小学校所有)
の八代村誌のなかの主要家
系録(武田代(将倉)代(倉))

の頃の「高山大人之由来」
から、わがやと書きま
した。事前に武田工んより
ご了承を得て掲載すること
ができました。ありがとうございます。

この言い伝えは、武田代
一族の歴史をあらわす。が
この地方の昔のことを知る
参考になると思います。
尚、この記録を計画された
新屋重部を御門は十七代と
あり、そして六孫王源経基
と合うの点から平安時代
中期頃と推定してあります。

表題を「新屋工ん」とし
たのは大代町の大家は、新
屋と大家本郷と二つの地区
があり、現在の大家新屋と
関係はないだろうかと考え
て「新屋工ん」としました。
(以下次号)

俳句

あまのりり合
知らぬまに 原田香興
栗にひかれし山の中

台風や 立野保雄
聞夜震れと過云行まぬ
今日もまた 重元コト
老の計較や残さぬ虫
風少し 荒本幸子
柿取字の定まらず
帰る人 夜あや子
柔き人神楽席冷ゆる
秋の日を 武田島子
一人占めし葉を切る
山里は 尾崎三枝子
猪垣つアき若れなすむ

秋 収支決算報告
奉納神楽 大代町神楽會
▲収入の部 二三九六〇円
▲支出の部 五六、三三〇円
▲お花 計 二九五、八二〇円
▲交際の部
一 神楽奉納 一五〇、〇〇〇円
一 お花 一〇、〇〇〇円
一 謝礼 二〇、〇〇〇円
一 夜食その他 九〇、四二〇円
計 二七〇、四二〇円
差引合計 二五、四四〇円
残金は来年度に繰越し